

デジタル×
人文社会科学で
知の新時代を切り拓く

名古屋大学 デジタル人文社会科学 研究推進センター

Center for Digital Humanities and Social Sciences

名古屋大学デジタル人文社会科学研究推進センター (DHSS) はデータ駆動型のデジタル人文社会科学を戦略的かつ組織的に推進します。分野横断的な新領域開拓で、人文社会科学系の研究振興を図り人文社会科学系の主導で新たな総合知を創出しテクノロジーだけでは困難な社会課題の解決に貢献します。デジタル人文社会科学の推進に不可欠な人材育成のため人材育成プログラムを開発します。大学院生が履修することで人社系の新たなキャリアパスを開拓することを目指します。

デジタル人文社会科学 研究推進センターについて

デジタル人文社会科学研究推進センターは、令和6年4月1日に発足した名古屋大学の学内共同教育研究施設です。本センターは、人文社会科学分野の研究振興を目的として設置されました。

本センターは、デジタル化された研究データを活用したデータ駆動型研究により、人文社会科学における分野横断的な学際研究の創出を目指しています。近年は技術の進歩によって文字や数字はもちろん、画像や物、さらにはピラミッドのような建造物もデジタル化が可能となりました。それは人文学分野にとって大きなインパクトとなり、デジタル人文学、デジタルヒューマニティーズに関心が集まるようになりました。デジタル人文学の発展で分野を超えた連携が生まれつつあり、これからは人文学と社会科学の連携も重要になるでしょう。本センターは、デジタル「人文社会科学」を掲げることにより、デジタルデータを活用したデータ駆動型研究という方法的な共通性を礎に人文学と社会科学の連携を強化し、分野横断的な新領域を開拓していくことをその使命と考えています。

人社系の研究振興で合わせて語られることが多いのが「総合知」です。社会課題の解決には理系だけでなく文系が生み出す知も必要で、それが総合知というわけです。実際は、理系由来のテクノロジー課題の解決に文系が

協力を求められる、という事例が多いのではないのでしょうか。ただ、総合知の現場がそうした例に偏りがちなのは、文系からの発信が少ないことも一因ではないでしょうか。これからは文系からも、何を社会課題と捉えているのか、課題解決をどう考えているかを広く社会に示した上で、必要に応じて理系の参画を求めるような取組みを、より積極的に展開していく必要があります。本センターのミッションが人文社会科学分野の研究振興にあることは間違いありませんが、一方で、センターの活動を通して得られた知見については、社会に向けて積極的に発信してまいります。その中で、社会課題の解決に結びつきそうな知見については、本学未来社会創造機構や理系部局とも連携して、社会実装を進めたいと考えています。

デジタル人文社会科学の推進には、デジタル化されたデータが学内外で広く共有される環境が必要です。そのためには、一定の規格に則ってデジタル化を進めるとともに、プラットフォーム構築も進めていかなければなりません。こうした学術基盤の整備には、学内では附属図書館や情報基盤センターと緊密な協力体制を構築するとともに、国内外の関係諸機関との連携も積極的に進めてまいります。関連諸機関の皆様、デジタル人文社会科学と関連の深い領域の研究者の皆様におかれましては、何卒、ご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

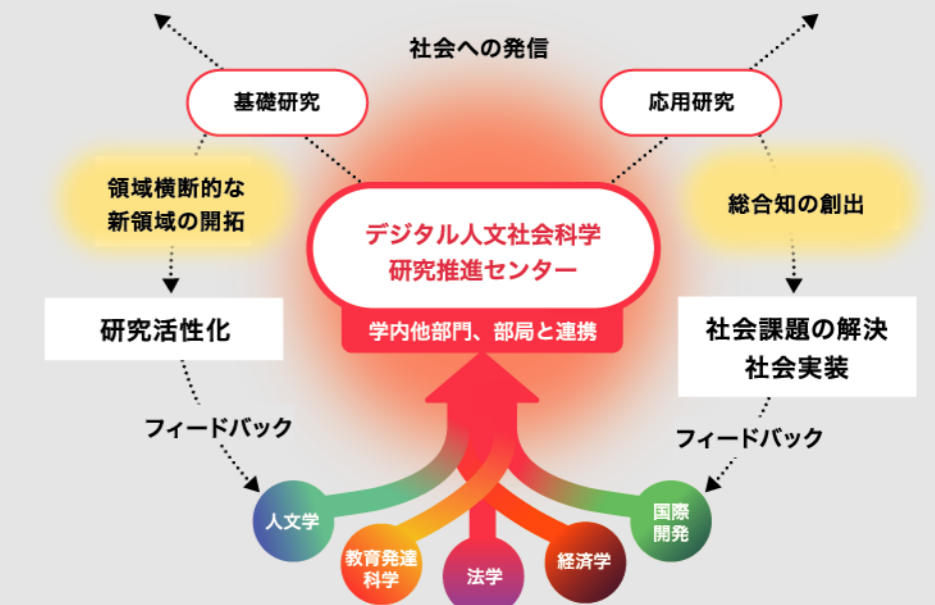
センター長
佐久間 淳一



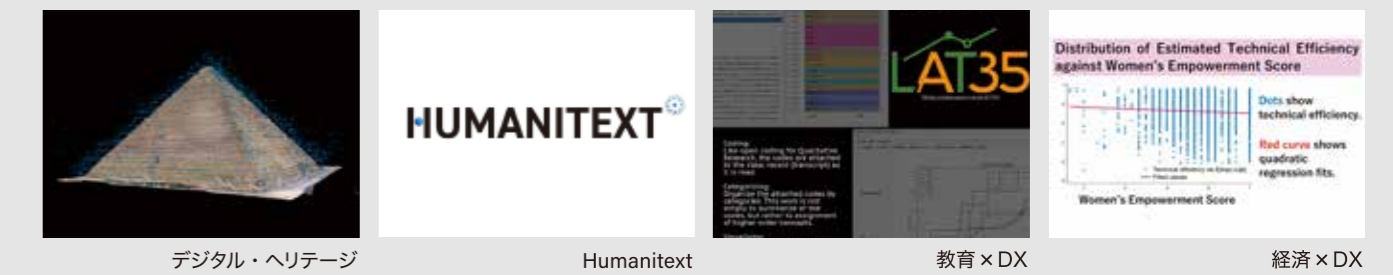
デジタル人文社会科学研究推進センターのミッション

- 1 研究マネジメント力を強化**
研究戦略部門と未来社会創造機構、学術研究・産学官連携統括本部が相互に連携することで、人社系だけでなく、全学の研究マネジメント力を強化。
- 2 デジタル人材を育成**
デジタル人材育成プログラム（1年間）を開発、大学院生を受講させ、RAに雇用することで、データサイエンティスト、デジタルアーキビスト等のデジタル人材を育成。
- 3 オープンサイエンスの実現**
附属図書館と連携してデジタルデータを積極的に公開。相互利活用を促進し、オープンサイエンスを実現。

デジタル人文社会科学研究推進センターの 取組み



プロジェクト（一例）



名古屋大学 デジタル人文社会科学研究推進センター

〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町 法経共用館 1 階
代表電話番号：052-789-2369

<https://dhss.nagoya-u.ac.jp>

